



新宿西戸山中学校・新宿中学校書道部の生徒が今年の希望を書で表現

あけまして
おめでとう
ございます



新宿区長
吉住 健一

区民の皆さまには、穏やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。本年が、皆さまにとって幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

今年の干支は「丑」ですが、丑年は「事を行うに手を挙げる時なり」といわれ、強い意志で物事をつかみ取る年です。どのような厳しい状況の中でも、皆で力を合わせて、前を向いて進み、新宿の未来に向けて、大きな成果を上げる年にしてまいります。

区立中学校の生徒さんと書き初めをいたしました。生徒たちの話し合いを受けて、私が言葉を添えることになり、「一往直前」(結果を恐れずに前に進む)という言葉を選びました。生徒たちの言葉からは、「今の困難を前向きに乗り切ろう」という気概を感じました。そうした思いへの応援の気持ちを込めて書きました。そして、私の今年の目標は「字の練習」としました。

今年、令和3年度～5年度を期間とする「第二次実行計画」がスタートします。誰もが元気でいきいきと暮らせる地域づくりや、安全で快適なまちづくりを目指し、区民の健康づくりや介護予防、子育て環境と教育の充実、区内のバリアフリー化などの施策を推進します。また、新型コロナウイルス対策についても、感染拡大防止と地域の社会経済活動の両立を維持するため、地域の相談・検査体制の充実や感染予防の意識啓発、区内事業者支援に引き続き取り組めます。

コロナ禍において、地域住民同士の声掛けや、情報交換が救いになったと言っている声も聞かれます。いつの時代も、地域における支え合いや顔の見える関係づくりは重要です。区内には、200の町会・自治会があり、お祭りなどの交流活動のほか、見守り・防災などの活動を行っています。また、交流サロンや、健康づくり・介護予防活動などを実施している団体やグループも数多くあります。こうした住民同士の支え合いや近所づきあいが地域に根付いていることは、新宿のまちの魅力です。区は、これからも地域の支え合い活動への支援や拠点づくりを進めていきます。

本年も、現場現実を重視し、区民の皆さまの声を聴きながら、新宿のまちの発展に全力で取り組んでまいります。今後とも、区政にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。